

## 第6回住民会議意見概要

日時：平成28年9月29日（木）19：10～21：05

場所：役場3階 庁議室

### ■第6回住民会議の主な内容

これまで検討を重ねてきた、基本構想・基本計画（素案）について、主に基本計画編における前回の住民会議での指摘を受けての修正や役場内部で検討して修正した内容、まちづくり目標ごとの重点事業や目標値について事務局から説明を行い、議論が行われた。

また、委員の方には基本構想編を含めて全体的に確認して、次回の会議で確認事項等について議論することとした。

### ■基本構想・基本計画（素案）への意見

#### 計画全体に係る内容

- ・重点事業に対する目標値の設定が、できる限り数値で表現するようにしているのは、とても良い。
- ・今後、施策の進捗などを検証する方法として、重点事業の状況を目標値を基に検証するという事だが、掲げられている重点事業の中には、数値で計れないものもあるが、その辺はどのように検証するのか。  
⇒検証方法については、事務局でも議論を進めているところであるが、数値で計れないものは、定性的な表現での検証を行うことを考えている。
- ・職員の意識を高めるためにも、重点事業に主管課もしくは担当課の名称を記載しても良いと思う。

### まちづくり目標1：みんなで考え、みんなで創るわくわくするまち

#### 2節 自ら考え、行動し、みんなで創るまち

- ・住民会議について、総合計画を作って終わりということではなく、その後の進捗の確認や重点事業を進めるためのアイデアを議論するような場として年に数回開催することも必要だと思う。また、住民会議の回数についても、目標値に設定しても良いのではないか。
- ・この場は、自治会の加入や未加入に関係なく、南風原町の未来について何かしたいという人の集まりなので、定期的にこのような場があると、協働のまちづくりの推進につながると思う。  
⇒会議形式あるいは座談会形式で、このような場を設けていけるように検討したい。また、目標値の設定についても改めて検討する。

## まちづくり目標3：ちむぐるでともにつくる福祉と健康のまち

### 3節 子育て支援の充実

- ・施策の展開（3）安心して子どもを生み育てるための支援の充実にある、「現物給付」という表現について、これは何か「モノ」を支給するという事なのか。町民から見ると、言葉の表現として分かりづらい。

⇒これは、中学生までの医療費無料化をさらに進めるものとして、現在、病院で治療を受けた際に支払った金額について、後日その金額を給付するという流れを、病院での実費の支払いをしなくても良いようにするものである。表現については、行政用語として現場ではこの表現を使用している。表現については、注釈をつけるなど検討したい。

### 4節 障がい者（児）・高齢者支援の充実

- ・目標値に「障がい者就労サービス支援件数」とあるが、岡山県の総社市長は「障がい者雇用を1,000人目指す」というような目標を宣言している。このようなところもあるので、南風原町としても、思い切った目標値を設定しても良いのではないかと。
- ・障がい者を雇用している企業の現場をいくつか見たことがあるが、雇う企業側として苦慮している状況がある。企業側の理解が必要であるので、宣言することはすばらしいが、現実的な面では難しい問題だとも思う。

## まちづくり目標5：みどりとまちが調和した安全・安心のまち

### 2節 快適で文化的に暮らせるまちづくり

- ・水と緑のネットワークについて、この総合計画の中にイメージ図などを表現して今後取り組んでいくことになるのか。

⇒この計画の施策の展開で表現している内容を踏まえて、今後は、「都市計画マスタープラン」や「景観計画」などの個別計画で取り組んでいくことになる。

- ・施策の展開（3）水辺空間の保全・活用及び水と緑のネットワークにある、「南風原ダム等のため池や河川等の水辺空間の保全・活用のあり方」という表現があるが、南風原町にある資源を有効活用して、子どもが遊んだり、環境学習などができるような場がもっと増えると良いと思う。

⇒同じ施策の展開の中でも自然観察会などの表現やまちづくり目標6においても環境学習を進めるなどの位置づけを行っている。また、土地利用構想図の「環境学習及び健康・医療・福祉ゾーン」において、周辺環境を活かした公園整備が計画されているところであり、今後活用できるものと考えている。